琴平町総合ハザードマップ

令和2年度保存版

わが家の防災メモ

あらかじめ避難所や安全なルートを確認しておきましょう。
また、付属のマイマップシールを中面のマップに貼りましょう。

わが家の避難所	家族（親戚・知人などの）の名前	電話番号（会社・学校・携帯）	備考
家族の集合場所			
非常持出し品の置き場所			

警戒レベルと避難行動

避難行動の考え方

◆本来、避難勧告は避難のための（現在いる危険な場所からの）立退きの勧告を意味しています。
◆町から避難勧告等が発令された時は、災害の種類に応じた指定緊急避難場所へ速やかに避難する必要があります。
◆指定緊急避難場所へ移動することがかえって危険であると自ら判断した場合には、「近隣の安全な場所」へ移動することも考えられます。
◆「近隣の安全な場所」への避難すら危険だと、自ら判断した場合には、やむを得ず、その時にいる建物内の安全な部屋等へ移動する「屋内安全確保」を行うことも考えられます。

5段階の警戒レベル

災害発生の危険度

	警戒レベル 1	警戒レベル 2	警戒レベル 3 高齢者等は避難！	警戒レベル 4 全員避難！	警戒レベル 5 緊急安全確保
	心構えを高める	避難場所や経路を確認	避難に時間を要する人は避難	安全な場所へ避難	命の危機直ちに安全確保
状況	今後気象状況悪化の恐れ	気象状況悪化	災害の恐れあり	災害の恐れ高い	災害発生または切迫
県・気象台が発表する情報	早期注意情報（警報級の可能性）	大雨注意報 洪水注意報	大雨警報 洪水警報	土砂災害警戒情報 氾濫危険情報	大雨特別警報

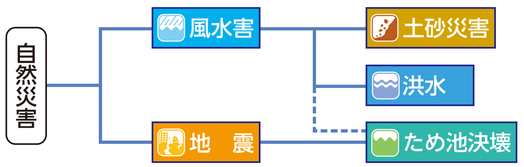
警戒レベル 4 で全員避難！

⚠「警戒レベル5」は既に災害が発生している状況です。
⚠「災害レベル4」では、地域の皆さんで声を掛け合って、安全・確実に避難しましょう。

ご自身が危険と判断した時には、自主的に避難しましょう。
場所によっては、指示を待つのではなく、自主的に避難を行うことが必要です。また、避難場所だけが有効な避難先とは限りません。災害の状況によって高い建物の上階への移動や、その場にとどまる行動が有効な場合もあります。

災害の分類

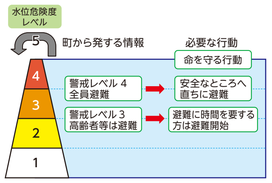
この資料では、琴平町内で起こりうる次の災害について説明します。



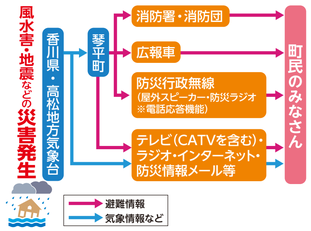
情報収集と避難準備

洪水時の避難情報

琴平町では次の指標等を総合的に判断して避難に関する情報を発信します。



避難情報の伝達方法



電力系統・インターネット環境が一切使えない状況に備えて

【防災ラジオ機器】

災害時の情報入手のため、様々な情報を受信し知らせる防災ラジオを有償配付（自己負担1,000円）しています！災害発生時に家族を守るため、一家に一台！防災ラジオを備えましょう！

- 照明ランプ(LED)付
- 補助（外部／簡易）アンテナ端子付
- ACアダプター端子付

▲本体側面

※FM・AM放送を聴取中でも強制的に防災行政無線放送に切り替わります。（「切」では受信しません。）
※停電時には自動的にAC電源から乾電池でバックアップします。
●乾電池の液漏れは、故障の原因となります。使用可能であっても年に1度は電池交換しましょう。

放送内容は、電話で確認できます。
TEL 0877-75-6812

災害情報の入手方法

災害時には以下の方法で情報を入手できます。常日頃から情報入手方法を確認しておいてください。

高松地方気象台
「香川県」の気象に関連する情報を充実させていきます。
http://www.jma-net.go.jp/takamatsu/

かがわ防災Webポータル
香川県の防災情報をまとめています。
ハザードマップや水位の情報など、防災に役立つ情報を掲載しています。
http://www.bousai-kagawa.jp/

香川県防災ナビ
香川県の公式アプリです。
災害時における避難情報等を迅速かつ的確に入手できます。
【Android】【iOS】

防災情報メール登録
右記の二次元バーコードを読み取って防災情報メールに登録することにより携帯メールで気象情報や避難情報を受け取ることができます。

避難時の心得

安全な避難所・避難経路の確認を！
- 事前に家族会議で確認
- 河川やがけの近くは通らない

非常持出品の事前準備を！
- 定期的に中身を確認
- 電気機器を充電
- 必要最小限に

正確な情報収集と自主的な避難準備を！
- ラジオ・テレビなど
- 琴平町防災ラジオ

避難時の確認！
- 電気、ガス等、火元確認！
- 親戚や知人に避難することを知らせる

速やかに避難を！
- 警戒レベル3で高齢者など
- 警戒レベル4で全員避難！
- 危険を感じたら

動きやすい服装 2人以上での避難を！
- 長袖、長ズボン
- リュックサック
- 運動靴
- 雨具

車での避難は控え徒歩で避難を！
- 交通渋滞
- 浸水による故障
- 緊急車両の妨げ

避難時に支援が必要な方に協力を！
- 高齢者
- 障害のある方
- 妊婦・乳幼児など

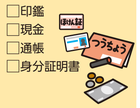
非常時持ち出し品の準備

備蓄については1週間程度分を目安に備えましょう。
非常持出品はすぐに持ち出せるように、リュックなどにまとめておきましょう。

食料品
- □飲料水（1人1日3リットル）
- □非常食

衣類など
- □下着・上着
- □タオル
- □洗面用具

貴重品・書類
- □印鑑
- □現金
- □通帳
- □身分証明書



安全対策・その他
- □常備薬・マスク
- □救急セット
- □筆記用具

日用品など
- □懐中電灯
- □携帯ラジオ
- □予備電池
- □充電器
- □ティッシュ

小さな子どもや高齢者の方がいる家庭では
- □粉ミルク・ほ乳瓶
- □離乳食
- □流動食
- □紙おむつ

ペットのいる家庭では
- □ケージ
- □ペットフード
- □ふん尿の始末用品

※持出品の目安重量：男性15kg、女性10kg以下（背負って走れるように）
※非常食や飲料水の備蓄は、家族全員7日分
※飲料水は一人1日3リットルが目安
※持出品は、まず「無ければ困るもの」、次に「あれば便利なもの」

状況に応じた避難行動をしよう

普段から町や自主防災組織が行う訓練に参加しましょう。

事前の確認 いざというときのために家族や地域で避難先を前もって確認しておきましょう。

マップで浸水の深さを事前に確認しよう
浸水想定区域、土砂災害警戒区域以外でも、避難情報が発令されることがあるので注意しましょう。

避難先を事前に決めておきましょう
浸水の深さに応じて避難先が異なります。避難時にあわてないために、事前に避難先を決め避難先までの経路を確認していきましょう。

裏面のハザードマップを見て、普段過ごしている場所で想定される浸水の深さを確認し、状況に応じた避難を考えましょう。

あなたの自宅の浸水は何m？

⚠ 被害想定がない区域でも、必ず安全というわけではありません。もしもの場合に備えて、状況に応じた行動をとりましょう。

予想される浸水の深さ

家屋倒壊等氾濫想定区域

- **5.0m 以上の浸水**：2階の屋根以上が浸水
  ●水流が強い場合には、木造住宅が倒壊、流出する危険がある
- **3.0~5.0m までの浸水**：2階の軒下まで浸水
  ●水流が強い場合には、木造住宅が倒壊、流出する危険がある
- **0.5~3.0m までの浸水**：1階の軒下まで浸水
  ●1階部分が浸水
  ●強い水流の中を歩くことは危険
- **0.5m 未満の浸水**：1階の床下まで浸水
  ●大人のひざ下程度
  ●浸水の深さがひざ上になると、歩行は危険

絶対に避難する

浸水しない安全な場所へ ●水平避難
（指定緊急避難場所、高台の道路、空地など）
- 歩きやすい服装
- 徒歩で避難
- お年寄りなどの避難に協力を
- 事前に避難先を話し合う

時間と安全な避難経路が確保されていれば外が明るいうちに **必ず避難する**

今いる建物の 2 階以上、または危険のない近くの高い建物へ ●垂直避難
平屋にお住まいの方やお年寄りの方は事前にご近所の2階以上ある家に緊急時には避難できるよう話し合う。

立ち退き避難ができない場合屋内の安全な場所に **必ず避難する**

その場にとどまり安全確保 ●屋内待機
時間帯や外の状況で判断
- 夜間で視界が悪い
- 自宅の周辺がすでに増水
- 屋外に出るとさらに危険な場合

むやみに移動しない

雨の強さと降り方（1時間雨量）

河川やがけなど災害の危険性のある場所には近づかないようにしましょう。

1時間の雨量が	10~20mm	20~30mm	30~50mm	50~80mm	80mm~
	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
	ザーザーと降る	側溝や下水、小河川があふれ、小規模のがけ崩れが始まる	バケツをひっくり返したように降る	滝のように降り続く	息苦しいような圧迫感や恐怖を感じる
状況	長引くようなら注意が必要	どしゃ降り	避難の準備が必要	いつでも避難できるよう準備しておく	雨による大規模災害のおそれが高く、厳重な警戒が必要

500m（平地）歩くのにかかる時間（目安）

約 6 分 成人男性
約 8 分 成人女性
約10分 高齢者

車での避難は控える
避難は徒歩が原則！
お年寄り・体の不自由な方など車での避難が必要な方は早めに避難開始！

基本情報の確認

いざという時のために、以下の項目を事前に確認しておきましょう。

●自宅の位置・高さ
- まずは、地図を見て自宅の位置を確認！
- 建物の高さ（階数）も重要！

●災害の危険性
- 次に自宅周辺の洪水や土砂災害の危険性を確認！

●指定緊急避難場所
- 避難可能な指定緊急避難場所を確認！
- 指定緊急避難場所の他にも、近所の高い建物、高い道も調べておくと有効！

地震・ため池決壊に備える

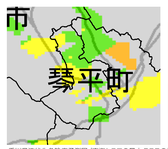
南海トラフ地震において、お住まい等の地域がどのくらい揺れるのか確認し、建物の耐震化や家具等の転倒防止対策を行いましょう。

琴平町の震度分布予測図
（南海トラフ地震最大規模の震度想定）

香川県震度分布図（南海トラフの最大クラスの地震）より

- ◆立っていることが困難になる
- ◆固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある
- ◆壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある
- ◆耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある

琴平町の液状化予想図
（南海トラフ最大規模の震度想定）



香川県液状化危険度予測図（南海トラフの最大クラスの地震）より

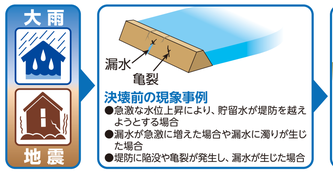
液状化とは、地震が発生したとき、地盤が液体状になる現象です。町内の液状化予想を確認しましょう。

琴平町では、大地震の後に津波の影響はほぼありませんが、ため池が決壊する可能性があります。大地震が起きた後は、ため池の状況にも注意してください。

ため池の決壊の起こり方

ため池の堤防は、耐用能力を超える大雨や地震の発生によって損傷を受け決壊する場合があります。

大雨



決壊前の現象事例
●急激な水位上昇により、貯留水が堤防を越えようとする場合
●漏水が急激に増えた場合や漏水に濁りが生じた場合
●堤防に陥没や亀裂が発生し、漏水が生じた場合

ため池決壊による被害
●大量の水や土砂が濁流となって同時に押し寄せます。
●決壊地点直下の地域の建物や車は押し流される可能性があります。
●道路や住宅地、田畑は土砂に埋まります。

地震

大雨が降り続いたり、地震が発生した時はため池が決壊する恐れがありますので、決壊する前に早めの避難を心がけてください。

※満水時に全ての貯水量が瞬時に流出する状況を想定しています。

ため池の決壊の原因（地震と大雨）

大雨 集中豪雨や長雨、土砂災害や流木などによって、ため池の水位が上昇すると、堤防で漏水がおこったり、越水した水の勢いで堤防が浸食されて、ため池が決壊するおそれがあります。

地震 地震による強い揺れによって、堤防に亀裂や陥没などが発生したり、液状化して、ため池が決壊することもあります。

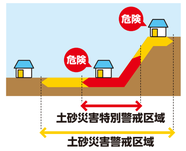
土砂災害に備える

琴平町では次の種類の土砂災害が起きる可能性があります。
警戒区域等をハザードマップで確認しましょう。

土砂災害警戒区域等について

土砂災害警戒区域（通称：イエローゾーン）
土砂災害が発生するおそれがある区域。

土砂災害特別警戒区域（通称：レッドゾーン）
土砂災害により住民の生命に著しい危害が生じるおそれがある区域。

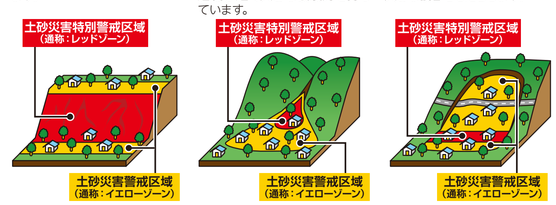


琴平町で起こりうる土砂災害の種類と前兆現象

急傾斜地の崩壊（がけ崩れ）
がけ崩れは、急な斜面が大雨や長雨によって緩み、突然崩れ落ちる現象で、避難が遅れがちになります。

土石流
土石流は、谷や渓流から、土砂や石、木を含んだ濁流が一気に下流へ押し流される現象です。
速度が速く大きな破壊力を持っています。

地すべり
地すべりは、広い範囲の地盤がゆっくりと動き出す現象です。
速度は緩やかですが、発生すると大きな被害をもたらします。



急傾斜地の崩壊
■前兆現象
○斜面から水が湧きだす。
○斜面に亀裂が入る。
○小石がパラパラと落ちてくる。

土石流
■前兆現象
○山鳴りがする。
○雨が降り続いているのに、川の水位が下がる。
○川の流れが濁ったり、流木が混ざり始める。

地すべり
■前兆現象
○地面がひび割れたり陥没する。
○沢や井戸の水が濁る。
○斜面から水がふき出す。

ハザードマップで確認しましょう

お住まいが「土砂災害警戒区域内」か「区域外」かを確認しましょう。

避難の際に気をつけましょう

お住まいが土砂災害警戒区域内にある場合は、
→「土砂災害警戒情報」の発表に気をつけてください。